

2026 年 7 月 24 日作成 Ver.1.2

《情報公開文書》

関節リウマチの抗原エピトープ探索研究

研究の概要

【背景】

関節リウマチ（RA）は、新しい薬の登場で劇的に改善しましたが、高額な薬剤費と長期にわたる治療が患者さんや社会の大きな負担となっています。これを解決するには、発症してから治すのではなく、発症そのものを防ぐ予防医療が必要です。

私たちは、リウマチ発症前の段階（未病期）の方々の血液を分析し、病気が進むにつれて増加する病気の原因となる可能性のある分子を特定することに成功しました。

今回の研究では、発見した分子のどの部分がどのように変化して免疫の異常を引き起こすのかを詳しく調べます。

【目的】本研究の目的は、患者さんの血液中にある免疫複合体の抗原について詳しく調べ、病気に関係する抗体の認識部位（エピトープ）を特定することです。

【意義】

リウマチの症状が出る前の段階で、将来の発症リスクを正確に見極めるための新しい検査法（客観的な指標）の確立につながります。また、病気の原因となる部分に対する新しいお薬（予防法）を開発するための重要な一歩となります。

【方法】患者さんの血液（血清）から免疫複合体を抽出し、架橋質量分析によって抗原-抗体の相互作用部位を調べることでエピトープ部分を調べます。

対象となる患者さん

下記の研究に参加された患者さんまたは健常人ボランティアとして参加された方で、下記の「研究に用いる情報」に記載してある情報を収集できる方を対象にします。

「自己免疫疾患における免疫複合体研究」（長崎大学病院臨床研究倫理委員会許可番号 24101007）の研究対象となった関節リウマチ患者と健常者ボランティア

※本研究では試料を使用せず、前研究で取得済みの抗原化したタンパク質の同定結果とそのタンパク量の定量結果ならびに参加者情報のみを本研究で使用します。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

本研究では、前研究で得られたデータに含まれる免疫複合体の抗原タンパク質・量、架橋構造を形成しているタンパク質の情報を用います。また、本研究で用いる患者情報は試料採取時の情報を使用します。

性別、年齢、既往歴、薬剤歴、家族歴、症状、血液検査所見、治療情報（治療薬）、発病年月、合併症、IgG、IgM、IgA、IgE、IgM、CRP、C3、C4、CH50、白血球、血小板、stage、抗核抗体、Rf 値、抗 CCP 抗体価、Bil、TP、Plt、ALP、糖鎖修飾情報、タンパク質同定・定量結果、エピトープ配列情報、三次元構造情報

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 7 月 31 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。本研究で使用する試料・情報は、個人を特定できないように匿名化されており、特定の個人を識別することはできません。そのため、この研究に使われたくないと申し出られた方を対象者から外すことができません。あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2030 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 実践薬学分野 氏名：忽那 幸紀 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）8569
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 実践薬学分野 忽那 幸紀
 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号
 電話：095（819）8569

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）